

公明会（こうめいかい）

さいとう かずふみ
(齋藤 和文 議員)

施政方針のはじめについて

問 第5次富士宮市総合計画後期計画策定の年であるが、具体的な事業とウイズコロナを考慮に入れて計画を進めていくのか。

部長 各事業の取組状況や目標値の進捗状況を検証した結果を踏まえ、遅れが見込まれるごみ処理対策の充実、農業の振興、公共交通の充実などについてさらなる事業展開の必要がある。

市政運営の基本的姿勢について

問 テレワークの移住体験に対する支援とは。

部長 移住に踏み切れない人を後押しすることを目的に、体験する人に対し補助制度を創設し、新たなニーズに対応していく。

問 ビジネスコネクトとは何か。

部長 今までの知的財産支援等の川崎モデルを堅持しつつ、新型コロナウイルス感染症拡大による経営への影響を踏まえ、市・富士宮信用金庫・富

士宮商工会議所・芝川商工会が連携し総合的相談支援体制を強化する。

問 切れ目のない支援とは何か。

部長 飲食、観光等事業者に対し飲食等事業者事業継続応援給付金事業の実施、第3波の収束を迎えるタイミングで、元気わく湧く一ポン事業第2弾を実施する準備を進めている。

問 E-BIKEの方針転換の考えとは。

部長 新たに芝川地区3施設に各5台、朝霧高原地区新規2カ所、合計69台で運用する。民間事業者も含めると約100台の体制となる。

令和3年度重点施策について

問 ゼロカーボンシティの具体的な取組とは。

部長 取組中の創エネ畜エネ機器等設置補助、地域循環共生圏づくり、小水力の導入支援、ごみダイエットプロジェクトを継続していく。令和3年度第2次環境基本計画等に2050年までの方向性や取組について具体的に示し、行政と民間が連携しオール富士宮で取り組んでいく。

至誠（しせい）

ほそざわ さとる
(細沢 寛 議員)

問 第5次富士宮市総合計画の折り返しを迎えることから、施策の検証とある。ウイズコロナと言われる中で具体的にどう行うのか伺う。また、施策の見通しや再構築があるのか伺う。

部長 計画策定時に定めた成果指標に基づく目標値の進捗状況や施策の取組状況を踏まえ、庁内で検証を行っていく。コロナ禍を経験したことによる、新しい視点や技術を取り入れ、加えることで従来の方針や計画に厚みが増していくものと考え。豊かな自然、きれいな水、すばらしい景観、地味豊かな食材、富士山信仰の聖地など、先人たちが守ってきた豊かな恵みを守り、活かしていくことでさらに活力あふれ、世界中の人々が訪れる文化都市富士宮市を築いていかななくてはならない。

問 市史編さんについて、令和4年度第1巻刊行を目指すとする。現在の進捗状況を伺う。また各

巻の発行予定はあるか。

部長 市制施行80周年を迎える令和4年度に第1巻自然環境編の刊行を振り出しに、民族編、通史編1から3の計5巻を発行する予定。令和4年度に第1巻自然環境編、以降令和6年度に民族編、令和7年度に通史編1、令和8年度に通史編2、令和9年度に通史編3を刊行予定。

問 森林整備計画の作成、森林環境贈与税の活用及び担い手の育成について伺う。

部長 10年を1期とする整備計画を策定し、5年ごとの見直しを行っている。地域の森林、林業の特徴を踏まえた森林整備の基本的な考え方や地域の実情に即した森林整備を推進するための森林施業の標準的な方法及び森林の保護等の規範、路網整備等の考え方等を定める長期的な視点にたった森林づくりの構想をまとめたもの。平成31年度に創設された森林環境贈与税の現在積立金は1156万6千円。令和2年度中にさらに交付があり、3月末には4440万円になる。